

2012年5月

1. 誌上発表(原著論文)

- (企画調整主幹) Miyahara, M., Sugi, E.^{*1}, Katoh, T.^{*2}, Hironiwa, T.^{*3}, Sunaga, H.^{*1}, Luo, L. Z.^{*4}
^{*1}Radiation Application Development Association, ^{*2}Japan Food Research Laboratory, ^{*3}KOGA Isotope LTD, ^{*4}Thermo-Fisher Scientific
Study of effective factors in detection of irradiated food using thermoluminescence based on the models of reference minerals (標準鉱物モデルを用いた熱発光法における有効な照射食品判定パラメーターに関する研究)
Radiation Physics and Chemistry, **81**, 705-711 (2012).
- (生薬部) ○ Abbaskhan, A.^{*1}, Choudhary, M. I.^{*1}, Ghayur, M. N.^{*2}, Parween, Z.^{*1}, Shaheen, F.^{*1}, Gilani, A.^{*1}, Maruyama, T., Iqbal, K.^{*1}, Tsuda, Y.^{*1}
^{*1}University of Karachi, ^{*2}The Aga Khan University
Biological activities of Indian celery, *Seseli diffusum* (Roxb. ex Sm.) Sant. & Wagh (インドセロリ, *Seseli diffusum* の生物活性について)
Phytother. Res. **26**, 783-786 (2012)
- Chung, M. H.
Tokishakuyakusan as a treatment for women's diseases (婦人病に対する当帰芍薬散の効果について)
J. Trad. Med. **29**, 89-92 (2012)
- (遺伝子細胞医薬部) ○ Kuroda T, Yasuda S, Kusakawa S, Hirata N, Kanda Y, Suzuki K, Takahashi M^{1,2}, Nishikawa S^{1,2}, Kawamata S², Sato Y.
¹ 理化学研究所, ² 先端医療振興財団
Highly Sensitive *In Vitro* Methods for Detection of Residual Undifferentiated Cells in Retinal Pigment Epithelial Cells Derived from Human iPS Cells. (ヒト iPS 細胞由来の網膜色素上皮細胞中に残存する未分化細胞の高感度 *in vitro* 検出方法)
PLoS One. 2012;7(5):e37342.
- (生活衛生化学部) ○ 田原麻衣子, 中島晋也^{1,2}, 杉本直樹, 有菌幸司¹, 西村哲治
^{*1} 熊本県立大学大学院, ^{*2} 西川計測株式会社
水道水質試験の標準液調製における不確かさと定量精度に影響を及ぼす要因
水道協会雑誌 **81**(5), 10-16 (2012)
- (食品部) ○ 菊地博之、堤 智昭、松田りえ子
フルオレスカミン誘導体化 HPLC 法による魚および水産加工品中のヒスタミン分析の性能評価
食品衛生学雑誌, **53**(2), 121-127, 2012
- 坂本智徳*、赤木浩一*、渡邊敬浩、松田りえ子、樋脇弘*
^{*}福岡市保健環境研究所
食品中メチル水銀の定量分析のためのフェニル誘導体化

GC-MS 法の開発

分析化学、61(4)、327-333、2012

(食品添加物部)

- Ishizaki, S.^{*1}, Sakai, Y.^{*2}, Yano, T.^{*2}, Ishihata, K.^{*3}, Nakano, S.^{*3}, Yamada, T.^{*3}, Nagashima, Y.^{*1}, Shiomi, K.^{*1}, Nakao, Y.^{*2}, Akiyama, H.

^{*1}東京海洋大学, ^{*2}日清食品(株), ^{*3}オリエンタル酵母(株)**Specific Detection by Polymerase Chain Reaction (PCR) of Potentially Allergenic Salmonid Fish Residues in Processed Food (加工食品中のサケの PCR による特異的検出法)***Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **76**, 980-985 (2012)

(衛生微生物部)

- 鎌田洋一

ザルコシステイスが含まれる馬肉による食中毒日本食品微生物学会雑誌, **29**(1),47-52, (2012)

- 古川真斗^{*1}, 徳岡英亮^{*1}, 原田誠也^{*1}, 松本博^{*1}, 松本一俊^{*2}, 八尋俊輔^{*3}, 宮坂次郎^{*4}, 斉藤守弘^{*5}, 鎌田洋一, 入倉大祐

^{*1}熊本県保健環境科学研究所, ^{*2}熊本県菊池保健所, ^{*3}熊本県健康福祉部健康危機管理課, ^{*4}熊本県食肉衛生検査所, ^{*5}埼玉県食肉衛生検査センター**生食用馬肉を共通食とする原因物質不明有症事例の原因究明と予防対策の検討**食品衛生研究, **62**(4),23-26, (2012)

- W. Wu^{*1,2}, B. M. Flannery^{*2}, Y. Sugita-Konishi, M. Watanabe, H. Zhang^{*1}, J. J. Pestka^{*2}.

^{*1}Nanjing Agricultural University, ^{*2}Michigan State University**Comparison of murine anorectic responses to the 8-ketotrichothecenes 3-acetyldeoxynivalenol, 15-acetyldeoxynivalenol, fusarenon X and nivalenol. (マウスにおける食欲抑制反応についての**

8-ketotrichothecenes 3-acetyldeoxynivalenol, 15-acetyldeoxynivalenol, fusarenon X および nivalenol の比較)

Food Chem. Toxicol. **50**(6), 2056-2061 (2012)

- N. Kobayashi^{*1}, M. Watanabe, Y. Hara-Kudo.

^{*1}Tokyo Institute of Technology**Distinctive identification of *Cladosporium sphaerospermum* and *Cladosporium halotolerans* based on physiological methods. (生物学的手法を用いた *Cladosporium sphaerospermum* および *Cladosporium halotolerans* の同定に関する研究)***J. Syst. Evol.* **50**(3), 235-243 (2012)

- Lee, K.^{*1}, French, NP.^{*1}, Jones, G.^{*1}, Hara-Kudo, Y., Iyoda, S.^{*1}, Kobayashi, H.^{*1}, Sugita-Konishi, Y., Tsubone, H.^{*1}, Kumagai, S.^{*1}

^{*1}Graduate School of Agricultural and Life Sciences, the University of Tokyo**Variation in stress resistance patterns among stx genotypes and genetic lineages of shiga toxin-producing *Escherichia coli* O157. (志賀毒素産生性大腸菌 O157 の志賀毒素遺伝子型および遺伝型パターン間におけるストレス耐性型の多様性)**

Appl Environ Microbiol. **78**(9), 3361-8 (2012)

(薬理部)

- 柘植英哉^{*1}, 大内 正^{*1}, 森 充生^{*1}, 下田耕三^{*1}, 大庭澄明^{*1}, 青木光夫^{*2}, 林美則^{*2}, 五島隆志^{*2}, 山影康次^{*3}, 渡辺美香^{*3}, 田中憲穂^{*3}, 小島 肇、四方田千佳子

^{*1} 社団法人東京医薬品工業協会局方委員会, ^{*2} 大阪医薬品協会技術研究委員会, ^{*3} 財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所

平成 22 年度「日本薬局方の試験方法に関する研究」研究報告 輸液用ゴム栓試験法の見直し研究(第 4 報) — ゴム栓試験法: 細胞毒性試験における資料溶液の調整方法に関する検討 —

医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス **43**, 473-482 (2012)

- Lin, W., Hirata, N., Sekino, Y., Kanda, Y.

Role of $\alpha 7$ -nicotinic acetylcholine receptor in normal and cancer stem cells. (正常幹細胞及び癌幹細胞における $\alpha 7$ ニコチン受容体の役割)

Current Drug Targets **13**, 356-65 (2012)

(病理部)

- Ishii, Y., Inoue, K., Takasu, S., Jin, M., Matsushita, K., Kuroda, K., Fukuhara, K., Nishikawa, A., Umemura, T.

Determination of Lucidin-specific DNA Adducts by Liquid Chromatography with Tandem Mass Spectrometry in the Livers and Kidneys of Rats Given Lucidin-3-O-

primeveroside (ルシジン配糖体を投与したラット肝臓及び腎臓における LC-MS/MS による特異的 DNA 付加体の検出) *Chem. Res. Toxicol.*, **25** (5), 1112-1118 (2012)

- Ota, Y., Imai, T., Hasumura, M., Cho, Y.M., Takami, S., Oyamada, T., Hirose, M., Nishikawa, A., Ogawa, K.

Prostaglandin synthases influence thyroid follicular cell proliferation but not carcinogenesis in rats initiated with N-bis(2-hydroxypropyl)nitrosamine. (プロスタグランディン合成酵素は、N-bis(2-hydroxypropyl)nitrosamine 投与ラットの甲状腺濾胞細胞の増殖には影響するが、発がん性には影響しない)

Toxicol Sci., **127**, 339-347 (2012)

2. 誌上発表(総説・解説等)

(薬品部)

- 八巻琢哉^{*1}, 吉橋泰生^{*2}, 米持悦生^{*2}, 寺田勝英^{*2}, 森山広思^{*1}, 伊豆津健一, 四方田千佳子, 川西 徹

^{*1}: 東邦大学大学院理学研究科 ^{*2}: 東邦大学大学院薬学研究科

凍結乾燥の最高許容温度評価に向けた FDM と熱測定の利用

低温生物工学会誌 **58** (1): 69-72 (2012)

(生物薬品部)

- 石井明子, 多田 稔, 川崎ナナ

バイオ医薬品の生産用基材

ファームテクジャパン **28**(7), 67-76 (2012)

(遺伝子細胞医薬部)

- 草川森土, 佐藤陽治
再生医療・細胞治療の規制と開発支援に関する国際比較
再生医療製品の許認可と組織工学の新しい試み (監修: 岩田博夫, 岸田晶夫, 松岡厚子; 株式会社シーエムシー出版, 東京), 20-27, 2012.
(食品添加物部)
- 杉本直樹, 田原麻衣子, 末松孝子*¹, 三浦 亨*²
*¹株式会社 JEOL RESONANCE, *²和光純薬工業株式会社
NMR による有機化合物の絶対定量の可能性
食品衛生学雑誌, **53** (2), J-228-J-233
(代謝生化学部)
- 手島玲子
食物アレルギーの消化と抗原性
臨床免疫・アレルギー科, **57**(5), 556-61 (2012)
(薬理部)
- 小島 肇
技術講座 安全性評価試験 (7) 構造活性相関
COSME TECH JAPAN, **2**(5) 51-54 (2012)
- Kojima, H.
The Japanese Center for the Validation of Alternative Methods (JaCVAM): Recent ICATM Contributions and Future Plans (日本動物実験代替法評価センター: 最近の ICATM への寄与と将来計画)
ALTEX Proc. **1/12** 337-338 (2012)

3. 単行本

- (医療機器部)
- 澤田留美
再生医療製品の許認可と組織工学の新しい試み
シーエムシー出版, 東京 (2012), pp. 28-37
「第 1 章 4 節 再生医療製品に使用される間葉系幹細胞の安全性評価の実際」について著述した.
- 松岡厚子, 澤田留美, 加藤玲子
再生医療製品の許認可と組織工学の新しい試み
シーエムシー出版, 東京 (2012), pp. 38-46
「第 1 章 5 節 次世代医療機器評価指標作成事業—再生医療分野—」について著述した.
- (衛生微生物部)
- 小西良子
食品の腐敗と微生物
榊幸書房, 東京 (2012), pp. 63-72
第 2 章食品における微生物の挙動 5 節穀類・豆類とその加工について本書の一部を著述した.

4. 学会・講演等

- (薬品部)
- 伊豆津 健一、四方田 千佳子、奥田 晴宏、川西 徹
凍結溶液における高分子と二糖類の混合性および変動因子
日本薬剤学会第 27 年会 (2012.5) (神戸)
- 阿曾幸男、宮崎玉樹、奥田晴宏
D-マンニトールの結晶形に及ぼす結晶化温度の影響

- 日本薬剤学会第27年会 (2012.5) (神戸)
- 宮崎玉樹, 阿曾幸男, 奥田晴宏
非晶質ニフェジピンの粘弾性に及ぼす高分子添加剤の影響
- 日本薬剤学会第27年会 (2012.5) (神戸)
- 香取典子, 小出達夫, 檜山行雄, 奥田晴宏
PATにおける製剤均一性試験法の判定基準について - Large Nの妥当性
- 日本薬剤学会第27年会, 神戸 (2012.05)
- 坂本知昭, 藤巻康人^{*1}, 村山広大^{*2}, 小金井誠司^{*1}, 小宮山誠^{*2}, 香取典子, 檜山行雄, 奥田晴宏
^{*1}東京都立産業技術研究センター, ^{*2}横河電機イノベーション本部センシング研
PAT評価ツールを目指した高速透過型近赤外分光器の導入アプローチ
- 日本薬剤学会第27年会, 神戸 (2012.5)
- 笹倉大督^{*1}, 平村行慶^{*1}, 坂本知昭
^{*1}マルバーンインスツルメンツ
医薬品造粒粒子の統計的粒子形状解析と粉体レオメトリによる複合解析
- 日本薬剤学会第27年会, 神戸 (2012.5)
- 小出達夫, 眞田則明*, 戸津美矢子*, 香取典子, 川西徹, 檜山行雄
*アルバック・ファイ
TOF-SIMSを用いた製剤中のステアリン酸マグネシウムの特性評価
- 日本薬剤学会第27年会 (2012.5) (神戸)
- 運 敬太, 加藤くみ子, 川西 徹, 奥田晴宏
リポソーム構成成分の細胞内動態特性評価
- 日本薬剤学会第27年会 (2012.5) (神戸)
- 加藤くみ子
DDS製剤開発に関わる規制動向
- 日本薬剤学会第27年会 (神戸) (2012.5)
- (生物薬品部)
- 後藤洋子*, 石塚保行**, 松浦知和***, 新見伸吾
*農業生物資源研究所, ** (株)バイオ未来工房, *** 慈恵医大
絹フィブロイン-ヒドロキシアパタイトコート不織布を用いて培養したヒト肝癌由来FLC-5細胞におけるアルブミン産生
- 第61回高分子学会年次大会 (2012.5) (横浜)
- Nakazawa, S.^{*1}, Ahn, J.^{*2}, Hashii, N., Hirose, K.^{*3}, Kawasaki, N.
^{*1}Hokkaido University, ^{*2}Waters Corp., ^{*3}Nihon Waters K.K.
Local dynamics analysis of human insulin and a rapid-acting insulin analog by hydrogen deuterium exchange/mass spectrometry (水素重水素交換/質量分析法によるヒトインスリンと超速効型インスリンアナログの構造ダイナミクスの解析)
- The American Society for Mass Spectrometry 60th Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (2012.5) (Vancouver, Canada)

(生活衛生化学部)

- 小林憲弘, 久保田領志, 杉本直樹, 五十嵐良明
水道水質試験法に関するアンケート調査
第 63 回全国水道研究発表会 (2012.5. 島根県松江市)

(食品部)

- 高山京子*, 渡邊文子*, 水越一史*, 中村宗知*, 根本 了*
(財) 日本食品分析センター
HPLC-FL による畜水産食品中のノシヘプタイド分析法の検討
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 堤 智昭, 鍋師裕美, 蜂須賀暁子, 松田りえ子
NaI (Tl) シンチレーションスペクトロメーターによる食品中の放射性セシウムスクリーニング
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 松田りえ子, 五十嵐敦子, 蜂須賀暁子, 堤 智昭
マーケットバスケット方式による食品からの放射性セシウム摂取量推定
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 菊地博之, 堤 智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子
牛肉部位間の放射性セシウム濃度の差について
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 鍋師 裕美, 堤 智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子
食品中放射性セシウム量の調理変化に関する検討
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, 東京
- 高附 巧, 堤 智昭, 松田りえ子, 岡野和史*¹, 亀谷宏美*², 等々力節子*², 菊地正博*³, 後藤浩文*⁴, 関口正之*⁵, 原 英之*⁶, 廣庭隆行*⁷
*¹ JEOL RESONANCE, *² (独) 農研機構食品総合研究所, *³ (独) 日本原子力研究開発機構, *⁴ (財) 日本食品分析センター, *⁵ (地独) 東京都立産業技術研究センター, *⁶ ブルカー・バイオスピン, *⁷ コーガアイソトープ
電子スピン共鳴法による放射線照射した乾燥果実及び貝の検知
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 亀谷宏美*, 高附 巧, 堤 智昭, 松田りえ子, 等々力節子*
* (独) 農研機構食品総合研究所
電子スピン共鳴法によるエビおよびカニの照射誘導ラジカルの検討
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 齊藤静夏, 根本 了, 松田りえ子
超臨界流体抽出及び LC-MS/MS を用いた野菜・果実中の残留農薬一斉分析法の検討
第 103 回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)
- 片岡洋平, 渡邊敬浩, 石川智子, 松田りえ子
ICP-MS を用いた清涼飲料水中のカドミウム・鉛・ヒ素の

同時分析法の検討

第103回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)

- 吉岡靖雄^{*1}, 宇治美由紀^{*1}, 吉田徳幸^{*1}, 角田慎一^{*2,*3}, 鍋師裕美, 吉川友章^{*1}, 堤 康央^{*1,*2,*3}

^{*1} 大阪大学大学院, ^{*2} 医薬基盤研究所, ^{*3} 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

食品中サブナノマテリアルの安全性評価：経口投与したサブナノ白金の体内動態及び生体影響に関する基礎検討

第103回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)

- 渡邊敬浩, 石川智子, 松田りえ子

トランス脂肪酸分析法の性能評価手法と性能評価基準設定に関する検討

第103回 日本食品衛生学会学術講演会, 2012.5, (東京都江戸川区)

- 松田りえ子

食品中の放射性物質規格と放射性物質検査の信頼性

食の安全・科学フォーラム 第11回セミナー*
東京, 2012.5

(食品添加物部)

- 秋山卓美、関口若菜、山崎 壮^{*1}、穂山 浩

^{*1} 実践女子大学

カラメルⅢ中2-アセチル-4-テトラヒドロキシブチルイミダゾールのHPLC分析法

日本食品衛生学会第103回学術講演会(2012.5) (東京都江戸川区)

- Mutsuga, M.

An update on efforts for regulation of food packaging in Japan (食品用器具・容器包装の規格に関する最近の取り組み)

Global Food Contact 2012 (2012.5) (Baltimore, MD, USA)

- Kawamura, Y.

Migration testing of food contact materials in Japan (日本における器具・容器包装の溶出試験)

5th Shelf Life International Meeting & Workshop on Food Packaging Safety (2012.5) (Changwon, South Korea)

- 六鹿元雄

器具・容器包装のアミン類、セミカルバジド類および鉛の分析法開発と含有実態調査に関する研究

日本食品衛生学会第103回学術講演会
タワーホール船堀 (江戸川区, 東京)(2012.5)

(衛生微生物部)

- 鎌田洋一, 入倉大祐, 斉藤守弘^{*1}, 小西良子

^{*1} 埼玉県食肉衛生検査センター

馬肉ザルコシスティス食中毒の病因毒素タンパク質の同定と性状解析

第103回日本食品衛生学会学術講演会, (2012, 5), (東京, 江戸川区)

- Ohnishi, T., Kawai, T.^{*1}, Sekizuka, T.^{*2}, Yahata, Y.^{*2}, Kuroda, M.^{*2}, Kumeda, Y.^{*1}, Iijima, Y.^{*3}, Kamata, Y., Sugita-Konishi, Y.

^{*1} 大阪府立公衆衛生研究所, ^{*2} 国立感染症研究所, ^{*3} 神戸

市環境保健研究所

***Kudoa septempunctata* causes the novel food-poisoning outbreaks in Japan by consumption of olive flounder in raw** (ヒラメの生食に起因するクドアセプテンpunkタタによる日本における新しい食中毒)

International Association for Food Protection European Symposium (2012.5) (Warsaw)

- Sugita-Konishi, Y., Irikura, D., Saito, M.^{*1}, Yahata, Y.^{*2}, Kamata, Y.

^{*1}Saitama Meat Inspection Center ^{*2}Infectious Disease Surveillance Center

A parasite toxin of *sarcocystis* in raw horse meat causes a new food borne disease (馬刺に汚染する寄生虫ザルコシステイスの毒素によって起こる新しい食中毒)

International Association for Food Protection European Symposium (2012.5) (Warsaw, Poland)

(機能生化学部)

- Naito, M., Okuhira, K., Demizu, Y., Itoh, Y.^{*}, Ishikawa, M.^{*}, Ohoka, N., Shibata, N., Hattori, T., Nishimaki-Mogami, T., Kurihara, M., Hashimoto, Y.^{*}

^{*}東京大学

Development of small molecules that induce IAP-mediated ubiquitylation and proteasomal degradation of target proteins in a specific manner (標的タンパク質特異的にIAPによるユビキチン化とプロテアソームによる分解を引き起こす化合物の開発)

Cell Symposia: Genetics and Chemistry Sharing a Language of Discovery (2012.5)(Boston, MA, USA)

- Okumura-Noji, K.^{*1}, Cavigiolo, G.^{*2}, Huang, R.^{*3}, Davidson W.S.^{*3}, Akita, N.^{*1}, Okuhira, K., Yokoyama, S.^{*1}, Tsujita, M.^{*1}

^{*1}名古屋市立大学, ^{*2}Children's Hospital Oakland Research Institute, ^{*3}University of Cincinnati

An anion-exchange chromatography isolated sub-fraction of mouse apolipoprotein A-I is unable to activate cellular cholesterol release from mouse peritoneal macrophage foam cells (陰イオン交換クロマトグラフィーで分画されたマウス apoA-I のサブフラクションはマウス腹腔マクロファージからのコレステロール搬出を活性化しない)

Arteriosclerosis, Thrombosis, Vascular Biology 2012 Scientific Sessions (2012.4)(Chicago, IL, USA)

(代謝生化学部)

- 中村政志^{*1*2}, 矢上晶子^{*1}, 原和宏^{*2}, 太田理恵^{*1}, 佐野晶代^{*1}, 福富友馬^{*3}, 手島玲子, 松永佳世子^{*1}
^{*1}藤田保健衛生大学医学部皮膚科学, ^{*2}ホーユー株式会社総合研究所, ^{*3}国立機構相模原病院
- 加水分解小麦末含有石鹼による小麦アレルギーの診断方法の開発
第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5) 大阪市
- 福富友馬^{*1}, 手島玲子, 松永佳世子^{*2}, 板垣康治^{*3}, 谷口正実^{*1}, 秋山一男^{*1}
^{*1}国立機構相模原病院, ^{*2}藤田保健衛生大学医学部皮膚科

学、*³北海道文教大学人間科学部健康栄養学科
グルパール 19S で感作された加水分解小麦アレルギー患者におけるその他の加水分解小麦への感作状況
 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5) 大阪市

- 安達玲子, 中村里香, 酒井信夫, 福富友馬*, 手島玲子
 *国立病院機構相模原病院臨床研究センター
加水分解小麦による経皮感作に関するマウスモデル実験系を用いた検討
 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5) (大阪市)

- 中村里香, 中村亮介, 安達玲子, 板垣康治*¹, 福富友馬*², 手島玲子
 *¹北海道文教大 人間科学部 *²国立病院機構相模原病院臨床研究センター
酸加水分解小麦の IgE 結合性および惹起能の比較検討
 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5) (大阪)

- 中村亮介, 中村里香, 安達玲子, 板垣康治*¹, 松永佳世子*², 福富友馬*³, 手島玲子
 *¹北海道文教大 人間科学部 *²藤田保健衛生大学 医学部 *³国立病院機構相模原病院臨床研究センター
酸加水分解小麦含有石鹼で感作された患者 IgE の *in vitro* 活性化試験による 交差反応性の評価
 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5) (大阪)

- 手島玲子
輸入解禁となった遺伝子組換えパパイアの検査法
 Ifia JAPAN 2012・食の安全・科学フォーラム*
 第 11 回セミナー 今注目すべき食品の規格と検査
 東京都江東区 (2012.5)

- 安達玲子, 中村里香, 酒井信夫, 福富友馬, 手島玲子
加水分解タンパク質の経皮感作能 ～マウスモデル実験系を用いた検討～
 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会
 大阪国際会議場, 平成 24 年 5 月

- 蜂須賀暁子
食品中の放射性物質調査の方法
 日本食品衛生学会第 103 会学術講演会シンポジウム I
 食と放射能を考える
 タワーホール船堀 (東京都), 平成 24 年 5 月

- 安達玲子
アレルギー物質を含む食品の表示制度と検査法の現状
 ifia/HFE JAPAN 2012*
 東京ビッグサイト, 平成 24 年 5 月

(安全情報部)

- 森田 健
化学物質のリスク評価の観点から見た放射線のリスク
 日本環境変異原学会公開シンポジウム
 (東京) (2012.5)

(薬理部)

- 山本直樹*¹, 平野耕治*², 山下宏美*¹, 加藤義直*³, 佐藤淳*³, 水谷宏*³, 中村政志*⁴, 原和宏*⁴, 宇佐美雅仁*⁴, 谷川篤宏*², 堀口正之*², 谷口孝喜*¹, 小島 肇

*¹ 藤田保健衛生大学共同利用研究施設, *² 藤田保健衛生大学医学部, *³ 日本メナード化粧品株式会社, *⁴ ホーユー株式会社

不死化角膜上皮細胞 (iHCE-NY) を用いた眼刺激性試験代替法に関する研究

日本組織培養学会 第 85 回大会 (2012.5) (京都)

○ 小島 肇

動物実験代替法の国際的理解

日本実験動物科学・技術 九州 2012 (2012.5) (別府, 大分)

○ 尾上 誠良^{*1}, 細井 一弘^{*2}, 若栗 忍^{*3}, 岩瀬 裕美子^{*4}, 山本 敏誠^{*4}, 松岡 奈央子^{*4}, 中村 和希^{*5}, 戸田 嗣人^{*5}, 高木 広憲^{*6}, 大崎 尚人^{*6}, 松本 康浩^{*7}, 川上 哲^{*8}, 世戸 孝樹^{*1}, 加藤 尚視^{*1}, 山田 静雄^{*1}, 大野 泰雄, 小島 肇^{*1} 静岡県大薬, ^{*2} 参天製薬(株), ^{*3} (財)食品薬品安全センター, ^{*4} 田辺三菱製薬(株), ^{*5} 塩野義製薬(株), ^{*6} 大正製薬(株), ^{*7} あすか製薬(株), ^{*8} 旭化成ファーマ(株)

ROS アッセイ多施設バリデーション: 物性からの光毒性リスク予測を目指して

日本薬剤学会第 27 年会 (2012.5) (神戸市)

○ Sato, K., Takahashi, K., Shigemoto-Mogami, Y., Ohtsu, K., Okada Y.^{*1}, Okano H.^{*1}, Sekino Y.

^{*1} 慶應大・医

The clonal difference in response to ATP of human induced pluripotent stem cell-derived neurons (ヒト iPS 細胞由来神経細胞の ATP への反応性の株間の相違)

Purine2012 (2012.5-6) (Fukuoka)

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(生薬部)

○ 袴塚高志

International Organization for Standardization (ISO)

TC249 Plenary Meeting

(国際標準化機構 TC249 第 3 回全体会議)

大田 (韓国), 2012 年 5 月 22 日~25 日

国際標準化機構(ISO)TC249 (中国伝統医学 (仮題) 専門委員会)に参加し、東アジア伝統医薬の原料生薬及び天然物由来医薬品が安全かつ有効に使用されるための国際標準について審議した。また、日本より提案した天然物由来医薬品の製造工程に関する標準案が、今後、作業部会において審議されることになった。

(毒性部)

○ 菅野 純

2012 Global Summit on Regulatory Science - Modernizing Toxicology (2012 年レギュラトリーサイエンスグローバルサミット出席)

中国・杭州

2012 年 5 月 9 日-5 月 11 日

レギュラトリーサイエンス研究者の連携を目的として、米国食品医薬品局(FDA)国立毒性研究センター主催のグローバルサミットの一環として開催された 2012 年度の会議に招聘され、レギュラトリーサイエンスの進展に向けた新しいツールの検討及び、毒性学の近代化及び他の研究分野

との調和について基調講演を行った。

6. 新聞・テレビ等

(遺伝子細胞医薬部)

○ 佐藤陽治ら

残存 iPS 検出可能に—網膜細胞移植研究に活用—

平成 24 年 5 月 18 日 (金) 読売新聞 朝刊 33 面
iPS 細胞 (新型万能細胞) を網膜細胞に変化させる際, 変化しきれなかった iPS 細胞を見つける技術を, 国立医薬品食品衛生研究所などが開発した. 残存した iPS 細胞はがん化の恐れがあるため, この技術は, 網膜細胞を移植医療に使う際に安全性の確認に使える. 米科学誌プロスワン電子版に 18 日, 発表する.

(生活衛生化学部)

○ 小林憲弘, 杉本直樹, 久保田領志, 五十嵐良明

浄水場問題, 原因の化学物質が判明. 浄水場汚染で化学物質「ヘキサメチレンテトラミン」を検出. ヘキサメチレンテトラミンと推定.

日本経済新聞電子版, 2012 年 5 月 24 日

MSN 産経ニュース, 2012 年 5 月 25 日

日本水道新聞, 2012 年 5 月 28 日

利根川水系の浄水場において水道水質基準を超えるホルムアルデヒドが検出された問題で, 厚生労働省・環境省からの要請により水道原水の分析とその原因究明に当たり, 主な原因物質はヘキサメチレンテトラミンであると特定したことが取り上げられた.